

平成29(2017)年度

教員免許状更新講習 募集要項 成安造形大学

| 受付期間 |

平成29(2017)年6月5日[月] - 6月16日[金]



永江弘之「春の水鏡」| F15キャンバス | アクリル絵具

美術・図画工作領域の実習系+総合的な学習領域の座学実習系講習
学校法人京都成安学園 成安造形大学【 】

免許状更新講習一覧

選択領域 幼児、児童または生徒に対する教科指導及び生徒指導上の課題 18時間相当分

講習No.	講習期間	講習時間	講習の名称	講座形態	対象職種	主な受講対象者	担当教員定員	定員
A	平成29年 7月31日[月]	6時間	綿棒を使った 立体造形	実習	教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	宇野 君平 (芸術学部准教授)	20人
B	平成29年 7月31日[月]	6時間	風景をモチーフとした 絵画表現指導	実習	教諭	小学校教諭 中学校教諭(美術) 高等学校教諭(美術・工芸)	永江 弘之 (芸術学部教授)	20人
C	平成29年 8月1日[火]	6時間	日本で見られる 西洋近代の名画	講義	教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	千速 敏男 (芸術学部教授・副学長)	40人
D	平成29年 8月1日[火] -2日[水]	12時間	写真・教育現場での 活用と表現 —撮影から編集—	実習	教諭	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭	金澤 徹 (芸術学部教授・副学長)	15人
E	平成29年 8月3日[木]	6時間	インクルーシヴ・ ワークショップの考え方	講義 実習	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	島先 京一 (芸術学部准教授)	30人
F	平成29年 8月3日[木]	6時間	版画・孔版 —シルクスクリーン版画を 体験する—	実習	教諭	小学校教諭 中学校教諭(美術) 高等学校教諭(美術・工芸)	伊庭 靖子 (芸術学部准教授)	20人
G	平成29年 8月4日[金]	6時間	キャラクターの役割と デザイン —教育現場での活用—	講義 実習	教諭 養護教諭	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	まつむら まきお (芸術学部教授) 森田 存 (芸術学部助教)	20人
H	平成29年 8月4日[金]	6時間	版画・凹版 —わかりやすい版画制作—	実習	教諭	小学校教諭 中学校教諭(美術) 高等学校教諭(美術・工芸)	長尾 浩幸 (芸術学部准教授)	20人

講習日一覧

	7月31日[月]	8月1日[火]	8月2日[水]	8月3日[木]	8月4日[金]
講習 No.	A	C		E	G
	B	D		F	H

この色枠の講習は2日間計12時間です。1日のみの受講はできません。受講料も12時間相当になります。

講習選択時の留意点

申し込みは「講習」ごとになります。実習の都合上各講習の受講人数が異なりますので、連続した日程で選択されても希望どおりの受講にならないことがあります。予約シートの注意書きを読んで、講習選択についてご理解いただいたうえお申し込みください。

受講の申し込みから履修認定までの流れ



1 講習予約

このパンフレット最後の10ページの受講予約シートに必要な事項をご記入いただき封筒表下部に「更新講習予約」と朱書きのうえ「〒520-0248 大津市仰木の里東4-3-1『成安造形大学 教員免許状更新講習係』」あてにご送付ください。成安造形大学のHPからもダウンロードいただけます。なお、書類の受領ミスの防止と整理の都合上お手数ですが日本郵便にて郵送ください。FAXやメール、持参による受付はいたしておりません。郵送は受付期間内に到着するように留意してください。期間前に早めにご送付いただいた予約は受付できません。受講予約は原則として予約シート収受日による先着順といたします。各講座の定員充足状況は本学HP更新講習の予約状況ページでご確認いただけます（公開の充足状況データは、前日までの予約人数になっています）。

2 講習決定

期日内に申し込みいただいた方から受講者を決定いたします。原則先着順。希望者が各講習の定員を超えた場合は、それぞれの講習について定員を超えた日の予約受領ぶんから抽選して決定させていただきます（抽選の詳細はお知らせしません）。受講が決定した方には、予約シートにご記入いただいた住所に受講申し込み書・受講料振込み依頼書を送付いたします。発送は締め切り日の3日後になります。なお定員制ですので、受講決定後の受講辞退はご遠慮ください。

3 申し込みと受講料振込み

本学から送付しました「受講申し込み書」に必要な事項をご記入のうえ郵送いただき、あわせて「受講料振込み依頼書」に記載された口座に6月30日[金]までに受講料をお振込みください（申し訳ございませんが振込手数料はご負担ください）。やむを得ないと判断される受講キャンセルにともなう受講料返却は、別に定めるとおりです。受講中止など受講にかかわる問題などが発生した場合は、すみやかにFAXまたはメールにて講習係までご連絡ください。1週間以内に大学から再連絡します。連絡がない場合はあらためてご連絡ください。申し込み書の受領と受講料の入金確認ができましたら、受講者票、受講案内等受講に関わる書類一式と事前アンケートを送付いたします。発送は事務処理の都合上7月上旬頃になる予定です。

4 講習受講

講習当日、受講者票および受講案内に記載された準備物をご持参ください。交通機関の乱れ等を除く自己都合による20分以上の遅刻は、受講ができない場合があります。台風等につきましては別途定めている規定のとおりです。電話連絡による連絡は受け付けておりません。また、受講途中の自己都合による中断は受講取り消しになります。スクールバスの乗車時間は5分ほどです、余裕を持ってご利用ください。車での来校は、所定の場所に指示に従って駐車してください。

5 修了証明書発行

各受講終了時の課題作品提出または終了認定試験の結果で、履修が認定されれば講習の終了証明書を送付します。受講された講習をまとめて送付します。9月末までに発送予定です。認定確認の問い合わせには、お答えできません。

本学の講習に関する質問につきましてはメールによる文章をお願いします。

電話によるご質問はお受けできません。事務の都合上、回答につきましては2-3日後になります。ただし、祝休日や連休の都合で回答にそれ以上の日数がかかることがありますので、申し込み締め切り期日をご勘案のうえご質問ください。

本学とは関わりのない免許更新講習の制度、手続きに関わる内容につきましては、勤務地の都道府県教育委員会へお問い合わせ願います。

諸注意

講習全般の注意

- ・受講は申し込みをした本人のみです。代理受講は認められません。
- ・受講時は受講票を必ず携帯してください。
- ・講習の教室は9時から受付開場します。教室前で受付をすましてください。
- ・スクールバスは無料です。おごと温泉駅および学内の専用の停留所で乗降してください。
- ・駐車場は学生駐車場です。学生以外も一般の方が出入りしますので事故のないように注意してください。
- ・もし駐車場で事故が発生した場合は、本館棟1階事務室まで連絡してください。事故の内容に問わず自己責任となります。
- ・食堂が営業しています。昼食は食堂を利用してください。弁当をご持参の場合も食堂でとるようにしてください。
- ・喫煙は指定された場所でのみ可能です。
- ・講習期間中は授業が行われていますので、食堂等の施設利用や教室の出入りにはご注意ください。

受講上の注意

- ・いかなる理由があっても欠席は認められません。列車等交通機関の遅延によるもの以外、開始後20分以降の受講は認められません。
- ・車での通学の場合に、道路の渋滞等の遅刻は配慮しません。ゆとりをもって通学してください。
- ・災害や不慮の事故などによる欠席の場合は、更新講習係で判断しあらためて連絡します。
- ・準備物等事前に通知した持参物を忘れると受講できないことがあります。
- ・受講時の服装、準備物等は指示に従って当日持参、準備してください。
- ・更衣室や鞆等の収納ロッカーはありません。貴重品は各自の責任で管理してください。事故等については責任を負いかねます。
- ・授業中は、携帯電話やスマートフォンの電源を切るかマナーモードにしてください。
- ・授業の課題として扱うことを除いて、講習の写真、ビデオ撮影および録音はご遠慮ください。
- ・受講中、体調が悪くなったりけがをした場合は授業担当者に伝えてください。
- ・受講に関わっての保険は、受講者の判断で各自ご加入ください。

講習の中止等

- ・災害や台風接近、講師の病気などでやむを得ず講習を中止あるいは延期する場合は、HPにて速やかに告知しあわせて登録いただいている電話やメールアドレスに連絡します。
- ・交通機関の不通や気象警報発表による場合の講習の中止や講習時間の繰り下げについては下記のとおりです。

交通機関(JR)	JR琵琶湖線・JR湖西線
気象警報発表対象区域	滋賀県大津市南部・北部(どちらか一方又は両方)
対象気象警報	暴風警報・大雨特別警報・暴風特別警報

解除時間	講習の開始
午前7時まで	通常の時間
午前9時まで	11時より開始
午前9時を超えても解除されない場合は講習を取りやめます	

受講配慮

- ・障害がある方や病気等で受講に特別な措置を希望される方は個別に相談に応じます。
- ・メールにて(やむを得ない場合は電話での対応をいたします)必ず申し込みの前にご連絡ください。

個人情報

- ・お預かりする個人情報につきましては本学の個人情報保護指針に基づき適正に保護に努めるとともに次の目的に使用します。
「応募に関する連絡および送付物の発送」「受講料の納入と管理」「講習の実施・運営・終了認定」「統計・調査・評価等」
- ・本講習の記録のため、写真やビデオの撮影を行い、ガイダンスやウェブ上で利用することがあります。ご了承ください。

受講料等

- ・受講料には会場までの交通費、食費、宿泊費は含まれていません。やむを得ないと判断される事情による受講辞退の場合は、本学の更新講習規定に則り事務手数料を除いた額を返金します(詳細は、受講決定後に送付します規程の抜粋をご覧ください)。

更新講習 Q & A

Q. 免許状の有効期間はどのように決まっているのですか。

平成21年3月31日以前に授与された免許状には、免許状としての有効期限は定められていません。しかし、更新講習の受講資格がある者で、終了確認期限までに更新講習の終了確認を受けなかった場合には、免許状が失効します。受講資格の有無については文部科学省のHP「教員免許更新制」を参考にしてください。平成30年3月31日が終了確認期限の方で講習が残っている方、および平成31年3月31日が終了確認期限となっている方が29年度の講習対象者です。

Q. 更新講習はどのように受講すればいいですか。

「必修領域」「必修選択領域」の計12時間と「選択領域」を18時間の合計30時間を受講して終了しなければなりません。「選択領域」だけで30時間受講しても更新を受けることができません。更新講習は多くの受講資格のある方が受講申し込みをされます。とりえず念のため予約しておくような、必要な受講時間数以上のご予約は、他の受講希望者の迷惑となりますのでご遠慮ください。

Q. 現在は教職についていませんが、受講しなければなりませんか。

現在教職についていなければ更新講習の受講対象者になりません。ただし、今後教職につく場合はその時点で更新を完了していなければなりません。

Q. 勤務地や現住所が他府県ですが受講できますか。

可能です。勤務地や現住所に関係なくどの大学でも受講できます。

Q. 「主な受講対象者」以外でも受講できますか。

受講できます。「対象職種」に該当していれば更新講習の対象になります。受講対象者に「中学校教諭(美術)」といった表現がありますが、「美術の教員のほうが取り組みやすく実践的」という意味に解釈してください。

Q. 一つの大学で30時間分受講しなければならないのですか。

複数の大学で受講できます。「必修領域」「必修選択領域」の計12時間をA大学で受講し、「選択領域」の6時間分をB大学、残りの12時間分をC大学で受講することも可能です。もちろん一つの大学ですべてを受講することもできます。成安造形大学では「選択領域」のみ開講です。「必修領域」「必修選択領域」は他大学で受講してください。

Q. 教員免許状の更新手続きはどこで行うのですか。

現在教員をさえている方は勤務地の都道府県教育委員会、現在教員をされていない方は住所地の都道府県教育委員会で、終了確認期限までに更新手続きを行ってください。

Q. 自家用車での通学はできますか。

可能です。学生用駐車場が利用できます。駐車は、大学および係員の指示に従ってください。ただし、通学ならびに駐車中の事故については大学は一切責任を負いかねます。

Q. 食堂などの大学施設が利用できますか。

食堂の利用は可能です。開講時期は授業が行われていますので時間帯により混雑することがあります。受講教室、図書室、食堂、売店以外の施設のご利用はできません。

Q. 受講者に欠員が出た場合に追加募集はありますか。

受講者決定後は欠員が出ても追加募集はいたしません。

Q. 受講料振込み後に受講辞退した場合は受講料は戻りますか。

更新講習開始日の2週間前までに受講辞退願(本学所定の様式)が提出され学長が許可した場合に限り、受講料から事務手数料1,000円を差し引いた額を返金します。また、その他やむを得ない事情があると判断した場合も、受講料の範囲内で返金します。

Q. 受講の決定について詳しく教えてください。

原則として先着順で決定します。抽選は次のように行います。たとえば6月6日現在で定員にあと3名のとき、6日に郵送されてきた予約シートが3名を超えた場合、6日に受け取った予約シートの中で抽選し残りの3名の受講者を決定します。

講習No. A 綿棒を使った立体造形

開設期間 ▶ 7月31日[月]

受講料 ▶ 6,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	20名	6時間	実技審査
主な対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
担当講師	宇野 君平(芸術学部准教授)		

講習の概要 ▶ 実技

綿棒と接着剤を使って立体造形にチャレンジする。習作として、綿棒で正三角形や正四角形を作り、それらを組み合わせて立体的な造形物へと展開させ、綿棒による造形の可能性を探究する。

自由課題「まとう」では、習作の経験を生かして身体に装着する立体作品に取り組む。提案として、頭にかぶる・首にかけける・体に巻きつける・手足に装着するなどユニークな事例を紹介しながら、自由に発想して造形へと発展させる。また、支援を要する児童・生徒にも応用でき、造形遊びや総合的な学習としての活用も考察する。

1限 9:30-11:00

- ・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意)
- ・内容と学習指導要領について
- ・実例の紹介と素材研究「習作」について
- ・「習作」1 綿棒の平面的な構成
- ・「習作」2 綿棒の立体的な構成

2限 11:15-12:45

- ・「習作」3 綿棒の自由な構成
- ・「習作」の合評
- ・自由課題「まとう」について
- ・自由にアイデアを構想する
- ・「まとう」実制作1 習作からの展開

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・「まとう」実制作2 各パーツの制作
- ・「まとう」実制作3 各パーツの構成
- ・「まとう」アイデアの確認と中間合評
- ・身体と造形の関係について
- ・場と造形の関係について

4限 15:20-16:50

- ・「まとう」実制作4 仕上げ
- ・「まとう」のプレゼンテーション
- ・「まとう」撮影会
- ・作品講評
- ・指導案への展開と教材の扱いについて

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

講習No. B 風景をモチーフとした絵画表現指導

開設期間 ▶ 7月31日[月]

受講料 ▶ 6,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	20名	6時間	実技審査
主な対象者	小学校・中学校(美術)・高等学校教諭(美術、工芸)		
担当講師	永江 弘之(芸術学部教授)		

講習の概要 ▶ 実技

ものを見て描くということは「対象の魅力を発見し、その魅力をいかに表現するか」という学習である。そうした学習は「身近な日常の魅力を発見する力(習慣)」を育み、日々を生き生きと過ごす幸せにつながる。「描くことで気づく魅力や感動」がたくさんある。主なモチーフである「人、もの、風景」の中でも、時間や天候で刻々と変化する風景の表現は一番難しく感じるかもしれない。

本講座では、教育現場での活用を考えた講義と実技をとおして写真・デフォルメ・演出といった風景表現の指導法を探る。

1限 9:30-11:00

- ・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意)
- ・内容と学習指導要領について
- ・さまざまな風景表現
- ・基本1 形の表現(フォルム、線遠近法ほか)

2限 11:15-12:45

- ・基本1 の続き
- ・基本2 色の表現(光と影、空気遠近法 ほか)
- ・主題と構図

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・課題設定について
- ・制作

4限 15:20-16:50

- ・制作
- ・作品講評
- ・指導案への展開と教材の扱いについて

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

開設期間 ▶ 8月1日[火]

受講料 ▶ 7,000円(テキスト代を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	40名	6時間	筆記試験
主な対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭		
担当講師	千速 敏男(芸術学部教授・副学長)		

講習の概要 ▶ 座学

モネ、ルノワール、ドガ、セザンヌ、ゴーガン、ファン・ゴッホといった西洋近代絵画の巨匠たちの作品は、児童、生徒にも親しみやすいものといえよう。日本国内の美術館が所蔵する作品を中心に彼らの画業をふりかえり、印象派・ポスト印象派を中心とする近代美術館の意義を再考する。

図面工作や美術における鑑賞教育にととまらず、国語教育における表現の理解、歴史教育における近代とその文化の理解などにも寄与すれば幸いである。

1限	9:30-11:00
・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意) ・モネとルノワール:印象派の成立	
2限	11:15-12:45
・モネ、セザンヌとルノワール、ドガ: 風景画と人物画 ・ドガとセザンヌ:現代生活を描く	
昼休み 12:45-13:35	
3限	13:35-15:05
・セザンヌ、ゴーガン、ファン・ゴッホ: ポスト印象派とは ・モネとゴーガン:印象主義と象徴主義	
4限	15:20-16:50
・モネとファン・ゴッホ: 自然描写と抽象表現 ・まとめ(小論文作成)	

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

開設期間 ▶ 8月3日[木]

受講料 ▶ 6,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭・養護教諭	30名	6時間	筆記試験
主な対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・養護教諭		
担当講師	島先 京一(芸術学部准教授)		

講習の概要 ▶ 座学・実技

障害を持った子どもたちとそうでない子どもたちがともに学ぶことができるアートワークショップについて、アートの視点をうい考えるとともに体験する。午前中は障害学などの知見をもとに、知的障害や発達障害についてどのように考えることができるかを検討し、様々な表現の可能性を探る。午後は造形ワークショップの実際的な経験を通じて、ワークショップのあり方について考える。

1限	9:30-11:00
・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意) ・インクルーシブ教育をどう考えるか ・教育学と障害学から考える: 知的障害と発達障害について	
2限	11:15-12:45
・関係性を再考する: つながることとつながらないこと ・インクルーシブ教育とアート: 多様な表現の可能性 ・現代美術の視点から	
昼休み 12:45-13:35	
3限	13:35-15:05
・ワークショップの考え方 ・ワークショップを考える	
4限	15:20-16:50
・発表と展示 ・試験(レポート作成等) ・教育現場での応用	

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

開設期間 ▶ 8月1日[火]・2日[水]

受講料 ▶ 13,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	15名	12時間	実技考査
主な対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
担当講師	金澤 徹(芸術学部教授・副学長)		

講習の概要 ▶ 実技

カメラや周辺機器のデジタル化が進み、写真は特別なものではなくなっている。ほとんどの人が何らかの形で撮影の道具を利用しているといって過言ではないが、カメラは価格の高い上位機種を持てばよい写真が撮れるという訳ではない。また、プロの写真家のように機材を選ぶことができない学校現場では、限られた機材を活用しなければならない。

身近な機材で撮影した写真のイメージをいかに利用するか、スライド発表やミニ写真集の構想まで、撮影から編集にいたる方法を学んで学校現場での応用につなげる。

なお、この講座は画像処理や画像加工を学ぶものではありません。



1日目

1限 9:30-11:00

- ・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意)
- ・撮影テーマについて考える
- ・撮影に向けての留意事項の説明
- ・各自が立てたテーマに基づき学内にて撮影

2限 11:15-12:45

- ・撮影した作品を確認し、必要に応じてテーマを調整
- ・各自の作品を確認して必要に応じての技術指導
- ・調整後のテーマにそって、学内での追加撮影

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・撮影した作品を確認し、必要に応じてテーマを調整
- ・各自の作品を確認して必要に応じての技術指導
- ・調整後のテーマにそって、学内での追加撮影

4限 15:20-16:50

- ・スライドショー本編集
- ・スライドショーと作品講評会

2日目

1限 9:30-11:00

- ・ミニ写真集編集に向けての注意事項
- ・前日に撮影した作品の再確認と選択
- ・テーマに合わせた作品の撮り増し

2限 11:15-12:45

- ・撮り増した作品を含めての編集
- ・使用候補作品のプリントアウト
- ・プリントアウトした作品を利用した編集

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・午前中に編集した作品の見直し
- ・調整のための追加撮影やプリントアウト

4限 15:20-16:50

- ・本編集と束見本の作成・作品講評
- ・持ち帰り用作品データの保存
- ・指導案への展開と教材の扱いについて

開設期間 ▶ 8月3日[木]

受講料 ▶ 7,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	20名	6時間	実技考查
主な対象者	小学校・中学校(美術)・高等学校(美術、工芸)		
担当講師	伊庭 靖子(芸術学部准教授)		

講習の概要 ▶ 実技

版画技法の一つであるシルクスクリーン(孔版)を体験し、版を使った表現の可能性を探る。版を用いて刷り上げる過程では、素材や技法の特性を活かし、様々なアイデアを盛り込むことができる。本講座では、教育現場における多様な造形表現のひとつとしての版画について理解を進め、孔版の原理を知り製版から印刷までを体験することで、描くことでは得られない形や色彩が生み出される仕組みを学ぶ。

1限 9:30-11:00

- ・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意)
- ・シルクスクリーンの概要説明
- ・技法のデモンストレーションによる理解
- ・使用材料による表現効果の説明

2限 11:15-12:45

- ・作品アイデア、下絵作成
- ・版構成を考える
- ・ポジ原稿制作
- ・製版

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・刷りの準備
- ・インクについての説明
- ・刷り

4限 15:20-16:50

- ・刷り(完成)
- ・作品発表
- ・指導現場での応用について
- ・後片付け、まとめ

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

開設期間 ▶ 8月4日[金]

受講料 ▶ 7,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭	20名	6時間	実技考查
主な対象者	小学校・中学校(美術)・高等学校(美術、工芸)		
担当講師	長尾 浩幸(芸術学部准教授)		

講習の概要 ▶ 実技

版画実習をとおして、絵画指導に版画の効果や技法を取り入れ、児童生徒の可能性を引き出すための方法を探る。

様々な技法がある中で、導入では版画の種類と特徴、現代版画の表現を紹介し、面白さなど鑑賞の方法を学ぶ。

実習では、簡単な素材を用いた凸版を扱い、題材設定から技法指導を中心にわかりやすく版画制作を行い、学年に応じた学校現場での応用をめざす。

1限 9:30-11:00

- ・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意)
- ・版画の歴史について
- ・現代版画や様々な版表現について
- ・版画教育の活動について

2限 11:15-12:45

- ・塩ビ板を使用して凹版を体験
- ・題材設定から技法指導
- ・製版、試し刷りの工程
- ・完成、後片付け、まとめ

昼休み 12:45-13:35

3限 13:35-15:05

- ・塩ビ板を使用して版表現の可能性を体験
- ・題材設定から技法指導
- ・他素材や技法を組み合わせる表現
- ・完成、後片付け、まとめ

4限 15:20-16:50

- ・作品の講評と鑑賞について
- ・絵画指導に版画の効果や技法を取り組む意義

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

講習No. G キャラクターの役割とデザイン—教育現場での活用—

開設期間 ▶ 8月4日[金]

受講料 ▶ 6,000円(材料費等受講以外の経費を含む)

対象職種	定員	時間数	試験の方法
教諭・養護教諭	20名	6時間	実技考査
主な対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・養護教諭		
担当講師	まつむら まきお(芸術学部教授) 森田 存(芸術学部助教)		

講習の概要 ▶ 座学・実技

キャラクターは現代社会で大きな影響力を持ち、その種類も様々である。この講座では、キャラクター文化の背景を踏まえ「人はなぜキャラクターに惹かれるのか」を解説し、さらに教育現場で利用できるキャラクター(自画像、似顔絵、動植物の擬人化など)のデザインと描写の実習を行う。

キャラクターは誰にでも描けるものであり、キャラクターの作成を通じて教材作成や生徒との交流へと役立てる方法を見出す。

1限	9:30-11:00
・ガイダンス(講習目的・概要・諸注意) ・内容と学習指導要領について ・キャラクターと日本文化 ・現代のキャラクターの役割	
2限	11:15-12:45
・社会でのキャラクターの利用 ・キャラクターデザインメソッド	
昼休み	12:45-13:35
3限	13:35-15:05
・ゆるキャラのデザイン ・モチーフ、キーワードの設定と足し算 ・性格や背景の設定 ・ファミリーの設定	
4限	15:20-16:50
・似顔絵の作成ポイント ・デフォルトのポイント ・動作の表現 ・作品講評 ・指導案への展開と教材の扱いについて	

講習の内容は受講者の経験などにあわせて、一部変更することがあります。ご承知ください。

予約シート記入のしかた

	整理番号	この欄は記入しないでください	
ふりがなをお忘れなく ご記入ください	ふりがな	あいうえ かきく	性別 生年月日
	氏名	○△ □×	男 昭和 年 月 日 女 (19 年)
電話番号は必ず ご記入ください	住所	お手数ですが都道府県からご記入ください 〒 520 - 0248 滋賀 都 津市仰木の里東4-3-1	
メールでの連絡をすることが あります。アドレスをお持ちの 方は必ずご記入ください。	電話	自宅 ○○○ (○○○) ×××× 携帯 ○×○ (○○○) ××××	FAX ○○○ (○○○) ××××
予定校名が決定していない 場合は学校名を除いて 記入してください。	e-mail	日常使用されているe-mailをご記入ください。また、着信が迷惑メールにならないよう設定をお願いします。 abcde12345@seian.fghijk.jp	
重要な欄です。 記入漏れのないように 講習日についても 十分ご確認ください。	勤務(予定) 校名・機関名	○○県立×○× 中学校	現在の 担当教科 美術
	勤務先電話番号	○×○ (○○○) ××××	職名(該当職 に○を記入) 常勤講師 非常勤講師
	整理番号	希望講座番号	講座の名称
	この欄は記入しない	A	綿棒を使った立体造形
	この欄は記入しない	F	版画・孔版 —シルクスクリーン版画を体験する—
	この欄は記入しない	G	キャラクターの役割とデザイン
	受講時間数	6	時間
	6	時間	
	6	時間	
	※希望多数の場合、受講決定は講座ごとの抽選になります(詳細は2ページ 受講の申し込みから履修認定までの流れをご覧ください)。 選択領域講習に必要な受講時間数は合計18時間です。18時間を超える受講希望は原則受け付けていません。講座の総時間数にご注意ください。		
備考	2年にわたる講習の場合の前年度修了の時間数、受講に際しての配慮事項などがあれば簡単に記入してください。 記入が受講の可否に関わることはありません。 「H28年度6時間修了」など必要があればご記入ください		

西暦での記入も可能です。

自宅のFAXがあればご記入ください。

中、高、専科の方は主に担当されている教科名をご記入ください。幼、小の方は記入不要です。

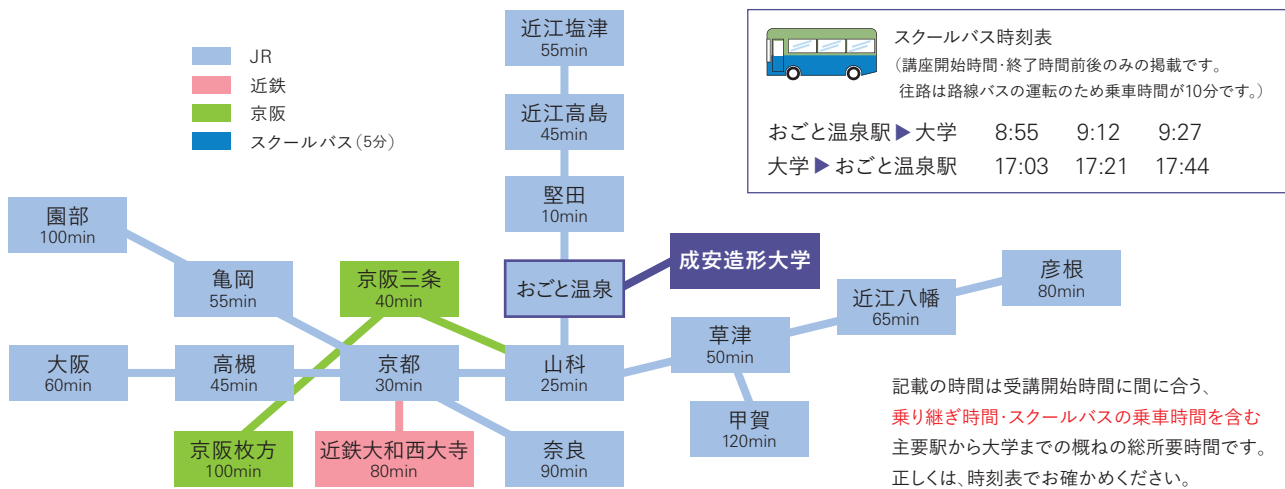
講座の時間を確認してください。

受講予約シート

また、予約は郵送(最終日必着)に限ります。FAXで送信しないでください。

大学へのアクセス

電車利用



乗用車利用

駐車場は学生用駐車場を利用していただきます

大阪・京都方面から

名神高速道路「京都東」IC

湖西道路「雄琴」を降りて

315 JRおごと温泉駅交差点を左折2Km

近江八幡・草津方面から

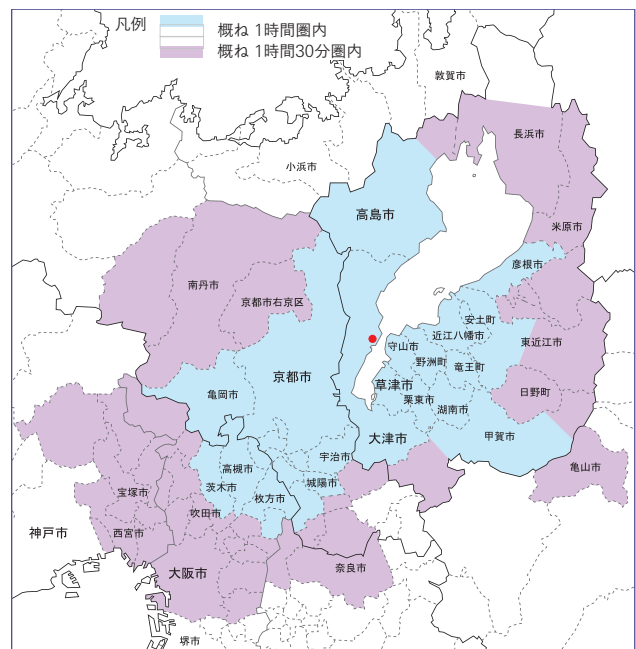
477 から琵琶湖大橋を渡り

161 「国道衣川」交差点を右折400m

大津・高島方面から

湖西道路「雄琴」を降りて

315 JRおごと温泉駅交差点を左折2Km



乗用車所要時間の目安マップ(あくまでも目安です。道路状況により前後します。)

問い合わせ先

成安造形大学 教員免許状更新講習係 <http://www.seian.ac.jp>

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1 E-mail: koushin@seian.ac.jp

問い合わせ受付: 月曜日-金曜日 10:00-15:00(お問い合わせはメールでお願いします。土・日・祝日および大学が定める休業日の連絡は回答が遅れます。)

Fax: 077-572-7800 Tel: 077-572-7800